



用語集

リノベーション

既存の建物に、機能や価値を向上させるための改修を加え、建物を再生させること。原状回復のための部分的な修繕（リフォーム）とは異なり、既存の価値に付加価値を加え、包括的な改修を行う。

エリアリノベーション

個別の建物の改修だけでなく、地域内の複数の空き家・空き店舗・公共空間などを改修・再整備することで、エリア全体の価値を高め、活性化させるまちづくりの手法。

エリアマネジメント

特定の地域（エリア）を対象に、民間企業や地域住民が主体となり、行政と協力しながら、地域の環境や価値を高めていく自主的な取組。地域内イベントの企画・実施や、空き店舗の利活用、美化・防犯活動などが例として挙げられる。

家守

江戸時代の職業の一つ。不在の地主（家主）に代わり、長屋（貸家）の管理、家賃の徴収、住民（店子）の世話などを行っていた。地主から支払われる管理料などで家計を立てながら、公用（公共的なサービス）を行い、まちを治めていた。その仕組みを現代版によみがえらせたのが、「現代版家守」。

まちの潜在資源

本来は価値や機能があるのに、十分に使われていない資源のこと。空き店舗や空き家などの遊休不動産の他、アイデアとエネルギーのある若者や家庭に潜在している女性、退職者などの人的資源がある。

まちづくりプレイヤー

地域やまちをより良くするために、主体的に行動している人や団体のこと。リノベーションまちづくりの主要なプレイヤーは、不動産オーナー、家守、事業クリエイター・オーナーのことを指す。